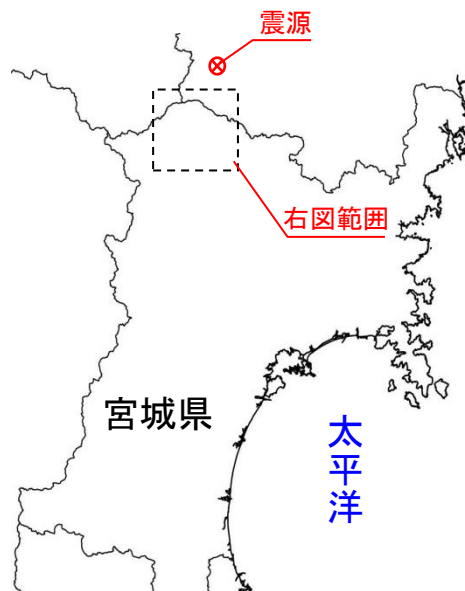
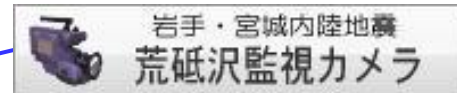
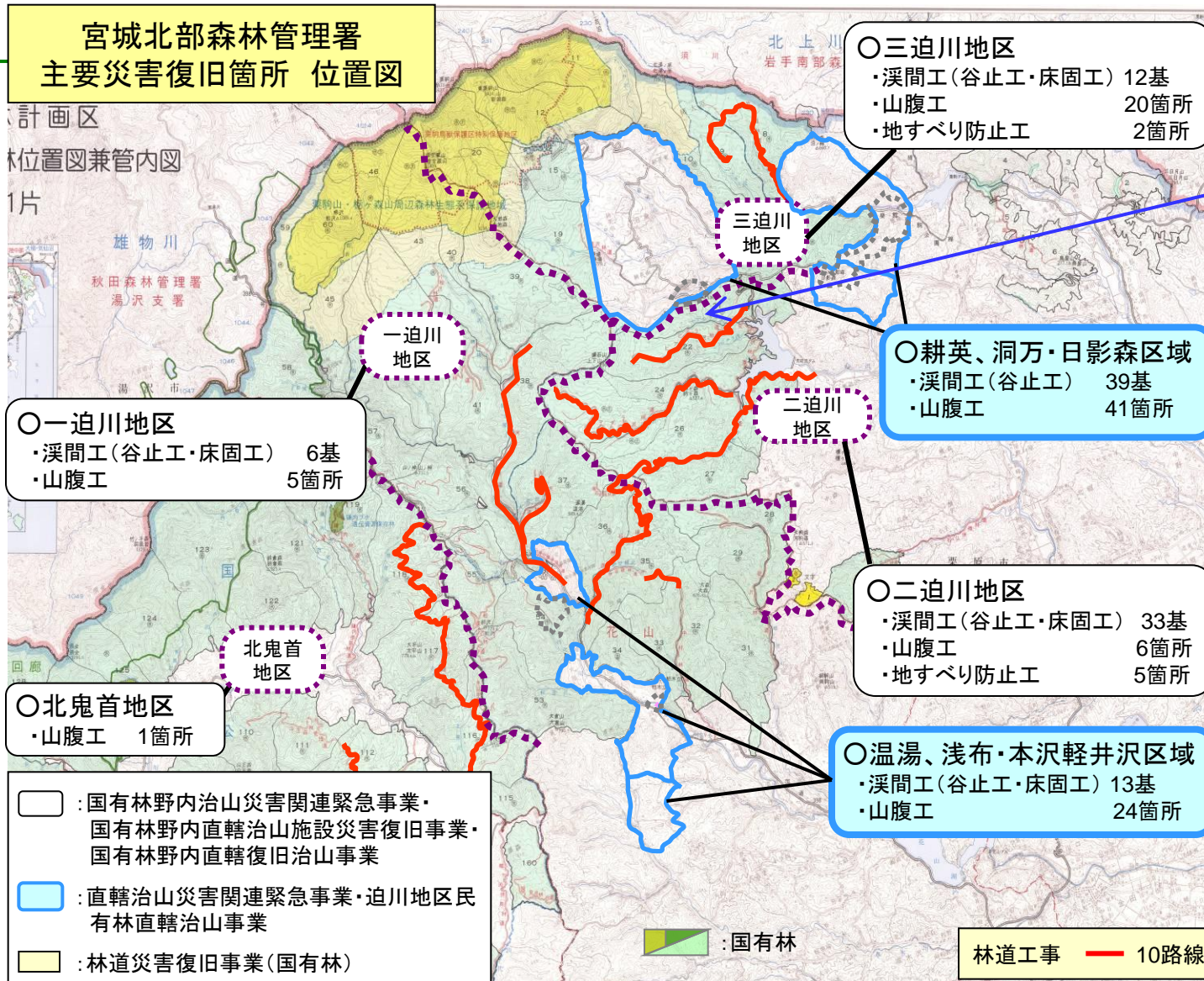


概要

○平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所に係る平成26年度末までの復旧整備状況
 国有林治山事業：溪間工51基、山腹工32箇所、地すべり防止工7箇所
 民有林直轄治山事業：溪間工52基、山腹工65箇所
 林道災害復旧事業：10路線
 ○平成27年度は、国有林治山事業で溪間工1基、山腹工1箇所、民有林治山事業で溪間工8基、山腹工4箇所の工事をを行います。



平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録
 2008年6月14日 午前8時43分頃発生
 地震の規模 M7.2
 最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
 震源地 岩手県内陸南部
 震源の深さ 約8km
 山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>

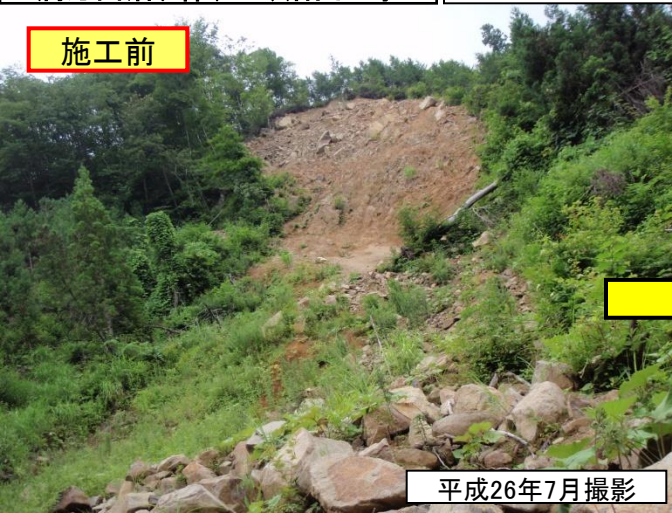


平成27年4月26日撮影

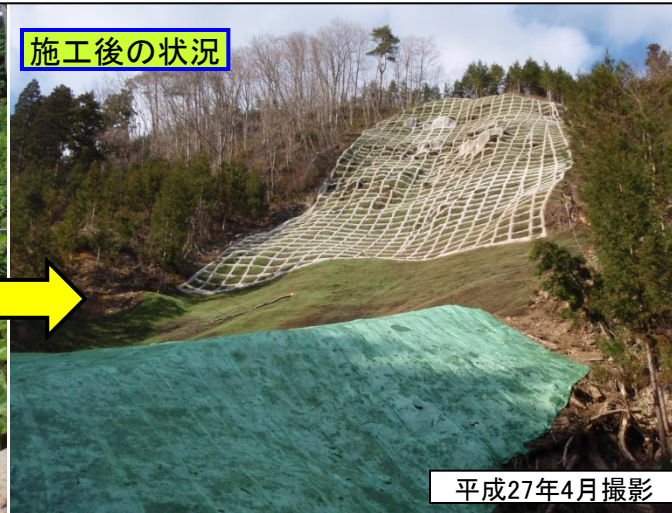
被災地の復旧状況（山腹工の事例）

平成26年度 洞万西沼ヶ森(H26)治山工事

施工前



施工後の状況



第3回 国連防災世界会議スタディーツアーの様子（荒砥沢地すべり概要説明）



3月14日～18日に開催された第3回国連防災世界会議において、岩手・宮城内陸地震の経験と教訓、復興の状況を発信することを目的として、3月17日、栗原市栗駒沼倉耕英地区でスタディーツアーが開催されました。
 ツアーには、世界各国から17名の参加者があり、荒砥沢地すべり地区滑落崖からの景観を初めて見た参加者からは驚きの声があがっていました。
 地すべりの概要説明では、質問や意見が殺到し、地震による被害への対策に各国が真剣に取り組んでいる様子がうかがえました。

平成27年度 工事施行箇所

① 耕英御沢Ⅴ (H26)
 [溪間工(コンクリート谷止工ほか)]
 コンクリート谷止工などを設置します。



③ 本沢軽井沢 (H27)
 [溪間工(コンクリート谷止工)ほか]
 コンクリート谷止工などを設置します。



⑤ 洞万 (H27) [溪間工(コンクリート谷止工)ほか]
 コンクリート谷止工などを設置します。



復旧工事を進めます

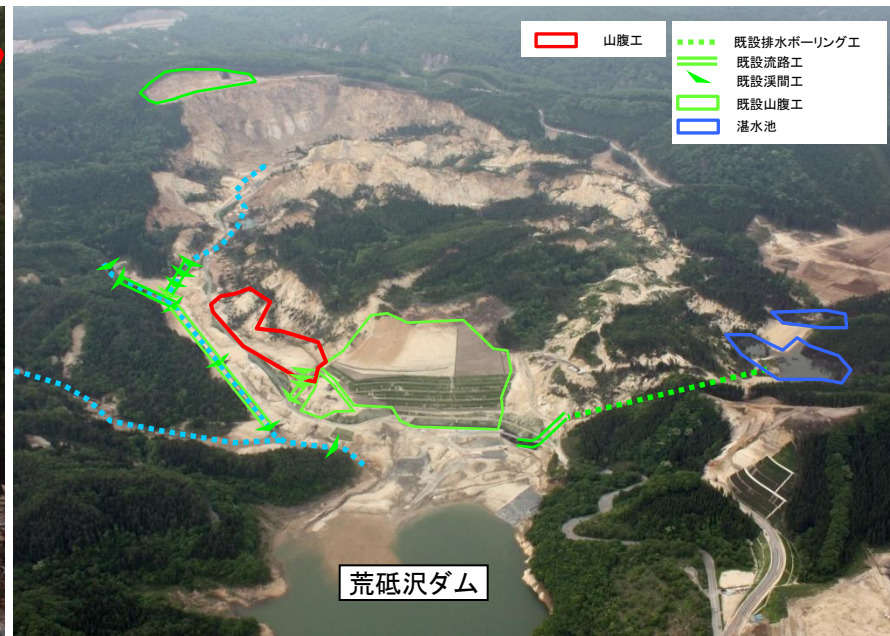
② 耕英岩魚沢Ⅱ (H26御沢)
 [溪間工(コンクリート谷止工)]
 コンクリート谷止工を設置します。



④ 耕英岩魚沢 (H27)
 [溪間工(コンクリート谷止工)ほか]
 コンクリート谷止工などを設置します。



⑥ 荒砥沢 [山腹工(緑化マット伏工ほか)]
 緑化マットなどを設置します。



⑦ 湯ノ倉上流 [溪間工(鋼製枠谷止工)ほか]
 鋼製枠谷止工などを設置します。

